

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

1. 事業の成果

平成29年度は設立来の目標であった認定NPO法人の申請を終え、また岡山市の小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の委託に向けての体制を整えることができた。学習復学支援事業では年間延べ300名程度の子どもや保護者の支援を行った。岡山市市民協働推進モデル事業では調査事業に加え、複数の市内総合病院へ支援活動を拡大することも叶い、支援対象を広げることができたなど成果が上がった年度であった。

重点課題であった病院や医療関係者、岡山市保健所との信頼関係を着実に構築し、ボランティア育成については、病棟支援ガイドラインの作成、適性試験の導入、スキルアップ研修などのプログラム化により、質の向上を図ることができた。

啓発活動では、講演会の開催や大学での講義など、年間延べ1,000人を超える参加者に病弱児の教育に関する課題や現状を伝えることができ、2月に開催したシンポジウムでは医療・教育・当事者それぞれの立場の第一人者とのつながりにより次年度につながる示唆を得ることもできた。

2. 事業の実施に関する事項

①病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業	事業内容	日時	実施場所	従事者数（人）		受益対象者 内訳	受益 対象者 (人)
				スタッフ	ボランティア		
個別訪問学習指導	自宅療養中や 復学初期の 子どもに対しての 学習サポート	4月	病児自宅	1	0	療養中の 病弱児	1
		5月	病児自宅	1	0	療養中の 病弱児	1
		6月	病児自宅	1	0	療養中の 病弱児	1
		7月	病児自宅	1	0	療養中の 病弱児	1
		1月	ポケットサポート事務所	1	0	療養中の 病弱児	1
		2月	ポケットサポート事務所	1	0	療養中の 病弱児	1
		3月	病児自宅	3	0	療養中の 病弱児	3
		計				9	0

①病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業	事業内容	日時	実施場所	従事者数（人）		受益対象者 内訳	受益 対象者 (人)	
				スタッフ	ボランティア			
病弱児の身体的精神的 状態に合わせた 学習復学支援事業	外来通院時や 自宅療養中の子どもたちが 安心して学習や 知育ゲームができる 環境づくり	5月	ポケットサポート事務所	14	1	病弱児と その家族	1	
		6月	ポケットサポート事務所	16	0	病弱児と その家族	0	
		7月	ポケットサポート事務所	14	20	病弱児と その家族	20	
		8月	ポケットサポート事務所	20	26	病弱児と その家族	26	
	外来通院時や 自宅療養中の 子どもたちが安心して 学習や知育ゲームができる 環境づくり	9月	ポケットサポート事務所 済生会総合病院	24	21	病弱児と その家族	21	
		10月	ポケットサポート事務所 済生会総合病院	20	9	病弱児と その家族	9	
		11月	ポケットサポート事務所 岡山済生会総合病院 国立岡山医療センター	28	12	病弱児と その家族	12	
		12月	ポケットサポート事務所 岡山済生会総合病院 国立岡山医療センター	24	31	病弱児と その家族	31	
		入院中の子どもの 学習進度や病状に 合わせた学習サポート	1月	ポケットサポート事務所 岡山済生会総合病院 国立岡山医療センター	24	31	病弱児と その家族	31
			2月	ポケットサポート事務所 岡山済生会総合病院 国立岡山医療センター	24	39	病弱児と その家族	39
			3月	ポケットサポート事務所 岡山済生会総合病院 国立岡山医療センター	24	0	病弱児と その家族	0
			計		232	190		190

①病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業	事業内容	日時	実施場所	従事者数（人）		受益対象者 内訳	受益 対象者 （人）		
				スタッフ	ボランティア				
ベネッセこども基金 「テレビ電話を活用した 双方向WEB学習支援」	厳重な感染防止下にある 子どもや遠隔地で療養する 子どもに対し、ICT機器を 使用した学習支援や 学校行事の配信等	4月	病児自宅⇄事務局	2	0	療養中の 病弱児	0		
		5月	病児自宅⇄事務局	2	2	療養中の 病弱児	3		
		6月	病児自宅⇄事務局	2	3	療養中の 病弱児	1		
		7月	病児自宅⇄事務局	10	2	療養中の 病弱児	3		
		8月	病児自宅⇄事務局	10	2	療養中の 病弱児	2		
		9月	病児自宅⇄事務局	10	3	療養中の 病弱児	0		
		10月	病児自宅⇄事務局	10	3	療養中の 病弱児	3		
		11月	病児自宅⇄事務局	8	3	療養中の 病弱児	4		
		12月	病児自宅⇄事務局	8	2	療養中の 病弱児	4		
		1月	病児自宅⇄事務局	5	3	療養中の 病弱児	3		
		2月	病児自宅⇄事務局	4	2	療養中の 病弱児	5		
		3月	病児自宅⇄事務局	3	3	療養中の 病弱児	5		
			合計			74	28		33

①病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業	事業内容	日時	実施場所	従事者数(人)		受益対象者 内訳	受益 対象者 (人)
				スタッフ	ボランティア		
副島先生講演会	岡山市と協働し病弱児の教育や療養環境についての講演会を開催	7/30	岡山大学 Jホール	18	5	市民、医療、教育、当事者、保護者など関係者	218
副島先生クラウンワーク	病弱児と関わる職種やスタッフ、ボランティアのスキル向上	7/30	岡山大学 医学資料棟	5	5	病弱児と関わる職種やスタッフ、ボランティア	36
病弱児教育シンポジウム	医療、教育、当事者、守る会などが集い、病弱児教育や教育制度に関して考えるシンポジウム	2/25	岡山大学 Jホール	21	3	医療、教育、当事者、保護者など関係者	141
				44	13		395

ボランティア育成・研修

事業	事業内容	日時	実施場所	従事者数(人)		受益対象者 内訳	受益 対象者 (人)
				スタッフ	ボランティア		
特別授業 1	知育ゲーム交流	5/27	ポケットサポート事務所	6	0	病弱児と家族	8
特別授業 2	理科実験体験学習	7/22	ポケットサポート事務所	7	2	病弱児と家族	2
特別授業 3	アートコレクション	9/30	ゆうあいセンター	2	2	展覧会観覧者	30
特別授業 4	ロボットプログラミング体験	11/12	ポケットサポート事務所	4	2	病弱児ときょうだい	2
特別授業 5	チョコレート作り調理実習	1/14	ポケットサポート事務所	8	0	病弱児	2
特別授業 6	リクエスト知育ゲーム交流	2/17	きらめきプラザ	15	1	病弱児と家族	9
フォローアップ研修 1	知育ゲーム研修	4/30	生涯学習センター	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア	6
フォローアップ研修 2	病弱児との関わり方、MYミッションを考える	6/25	岡山大学教育学部	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア	5
フォローアップ研修 3	病弱児との関わり方、夏祭りのための留意事項説明など	8/20	生涯学習センター	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア	3
フォローアップ研修 4	ボランティア適性タイプ分け、知育ゲーム研修、クリスマス会企画	10/29	ポケットサポート事務所	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア	2
フォローアップ研修 5	病棟支援ボランティア講習と、合格判定テスト	12/10	きらめきプラザ	4	0	ポケットサポート学習支援ボランティア	10
フォローアップ研修 6	他者に物事(学習内容など)を伝えることの工夫と考え方	2/17	きらめきプラザ	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア	6
新規ボランティア説明会	病弱児の教育支援について、支援ボランティアガイドライン説明、心のケアのための声掛けワーク	5/28	ゆうあいセンター	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア希望者	10
新規ボランティア説明会	病弱児の教育支援について、支援ボランティアガイドライン説明、心のケアのための声掛けワーク	8/26	ゆうあいセンター	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア希望者	3
新規ボランティア説明会	病弱児の教育支援について、支援ボランティアガイドライン説明、心のケアのための声掛けワーク	11/25	ポケットサポート事務所	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア希望者	12
新規ボランティア説明会	病弱児の教育支援について、支援ボランティアガイドライン説明、心のケアのための声掛けワーク	12/10	きらめきプラザ	2	0	ポケットサポート学習支援ボランティア希望者	9
				64	7		119

②病弱児同士の交流や集団での学習活動支援事業

事業内容	事業内容	日時	実施場所	従事者数（人）		受益対象者 内訳	受益 対象者 (人)
				スタッフ	ボランティア		
夏祭り	体力低下により炎天下に長時間いられない子どもや、車椅子で外出が困難な子どもや家族が安心して過ごせる夏祭りや縁日体験、科学実験教室をバリアフリーの屋内で開催	8月	生涯学習センター	4	10	病弱児と家族	9
クリスマス会	免疫力低下により感染症にかかりやすい子どもや、車いすで外出が困難な子どもや家族が安心して過ごせる、クリスマス会を感染症対策をしたバリアフリーの屋内で開催	12月	生涯学習センター	5	10	病弱児と家族	14
				9	20		23

③病弱児への支援に関する啓発・講演活動および講師派遣業

事業	事業内容	日時	実施場所	従事者数（人）		受益対象者 内訳	受益 対象者 (人)
				スタッフ	ボランティア		
新聞コラム執筆	活動や代表自身の経験を通して、病弱児の置かれている現状を発信	4月	山陽新聞	1		新聞読者	
新聞コラム執筆	活動や代表自身の経験を通して、病弱児の置かれている現状を発信	5月	山陽新聞	1		新聞読者	
病弱教育研究会講演	病弱児が支援者になった話～長期入院生活からポケットサポートの取り組みまで	7月	くらしき作陽大学	1		小児病虚弱研究セミナー参加者	30
コラム執筆	「病気の子どもたちに教育は必要？もちろんYES。しかし・・・未だ不十分な現状」	12月	橋本財団	1		医療・福祉の専門家らによるwebマガジンOpinions購読者	
講演	病気の子どもの学習・復学支援の取り組み	2/10	静岡県立大学	1		小児医療・児童福祉・特別支援教育関係者、HPSおよび遊び支援関係者、学生	200
講演	病弱児教育の概要と復学支援の重要性、ポケットサポートの取り組み	4/17	岡山大学教育学部	1		岡山大学教育学部学生	50
講演	病弱児教育の概要と復学支援の重要性、ポケットサポートの取り組み	5/26	岡山大学教育学部	1		岡山大学教育学部学生	200
講演	病弱児教育の概要と復学支援の重要性、ポケットサポートの取り組み	5/30	岡山大学教育学部	1		岡山大学教育学部学生	200
				8			650

啓発冊子作製(助成事業)	病気の子どもたちが教えてくれた未来への希望		郵送配布	3	5	教育・医療関係者	500
--------------	-----------------------	--	------	---	---	----------	-----

3. 事業費に関する事項

①病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業	支出金額
テレビ電話を活用した双方向Web学習支援	1,589,575
副島先生講演会	
フォローアップ研修	
新規ボランティア説明会	
特別授業	277,682
慢性疾病を抱える子どもの自立を目指す学習復学支援	1,905,933
個別訪問学習支援	54,600
学習支援全般	495,254

②病弱児同士の交流や集団での学習活動支援事業

事業	支出金額
夏祭り	41,871
クリスマス会	152,988

③病弱児への支援に関する啓発・講演活動および講師派遣業

事業	支出金額
シンポジウム	2,074,310
啓発冊子作成	
講演活動	73,700